

第一回リスナー参加型

天下一学問会

高校レベル

問題用紙

古典（古文・漢文）

作問者…四宮式

問題数…大問二問

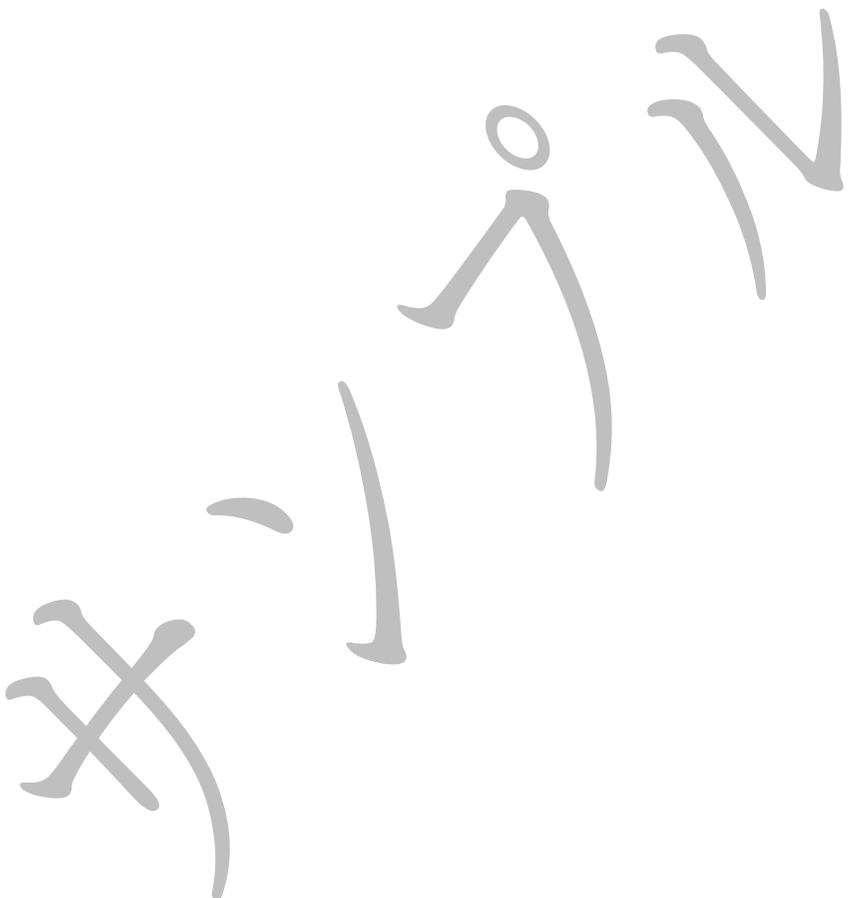
記述式

解答時間…六十分

注意事項

- 一 解答は専用フォームから行うこと

次ページより問題を掲載



古典問題

第一問 次の文章は『源氏物語』の一部である。以下を読んで次の問いに答えよ。

「何事ぞや。童べと腹立ち⁽¹⁾給へるか。」とて、尼君の見上げたるに、少し^(ア)おぼえたるところあれば、子なめりと見給ふ。「雀の子を犬君が逃がしつる。伏籠のうちに籠めたりつるものを。」とて、いと口惜しと思へり。このゐたる大人、「例の、^(イ)心なしの、かかるわざをしてさいなまるこそ、いと心づきなけれ。いづ方へかまかりぬる。いとをかしう、やうやうなりつるものを。鳥などもこそ見つくれ。」とて立ちて行く。髪ゆるるかにいと長く、めやすき人なめり。少納言乳母とぞ人言ふめるは、この子の後ろ見なるべし。

尼君、「いで、^(ウ)あなをさなや。言ふかひなうものしたまふかな。おのが、かく、今日明日におぼゆる命をば、何とも思したらで、雀慕ひたまふほどよ。罪得ることぞと、常に聞こゆるを、心憂く」とて、「こちや」と言へば、ついゐたり。

つらつきいとらうたげにて、眉のわたりうちけぶり、いはけなくかいたりたる額つき、髪ざし、いみじうつくし。「ねびゆかむさまゆかしき人かな」と、

(A) 目とまりたまふ。さるは、「限りなう心を尽くしきこゆる人に、いとよう似たてまつれるが、まもらるるなりけり」と、(B) 思ふにも涙ぞ落つる。

